

ドローン（無人マルチローター）による農薬散布 実施計画書（下書き）

作成日：_____ 実施者（氏名・連絡先）：_____ 防除委託者（氏名・連絡先）：_____ 操縦者・補助者：_____

実施場所（市町村・圃場）	実施予定月日（予備日）	作物名	実施面積（a）	対象病害虫	散布農薬名	剤型	10aあたりの使用量又は希釈倍数	周辺の状況（学校・家屋・巣箱・有機圃場など）	実施除外区域・飛散を防ぐ対策	事前の情報提供（相手・日）
合計										

- 散布の計画を立てるときの下書きです。都道府県によっては、ドローンで農薬を散布する前に実施計画書、散布したあとに実施報告書の提出を求めています（例 神奈川県は実施の14日前までに提出）。提出が必要かどうかと様式は、散布する都道府県の農薬指導の担当部署に確かめ、指定の様式に書き写して出してください。
- 使う農薬は、作物と対象病害虫に登録があり、使用方法（無人航空機による散布など）・希釈倍数・使用量がラベルの範囲に収まっていることを確かめます。
- 航空法の手続き（飛行の許可・承認、飛行計画の通報、飛行日誌）は、この計画書とは別に必要です。「散布前の確認リスト」のシートで確かめてください。
- 記入例の場所・農薬名・数値は架空のものです。希釈倍数・使用量は必ずラベルで確かめてください。

ドローン（無人マルチローター）による農薬散布 実施報告書（下書き）

作成日：_____ 実施者（氏名・連絡先）：_____ 防除委託者（氏名・連絡先）：_____

実施場所（市町村・圃場）	実施月日	作物名	実施面積（a）	散布農薬名	10aあたりの使用量又は希釈倍数	天候・風（散布時）	操縦者	事前の情報提供	日時の変更の連絡	立入防止の告知・表示	飛散・事故の有無	備考
例 △△市 東1号～東3号	7/20	水稻	120	〇〇フロアブル	8倍・0.8L	晴 風1～2m/s	山田	済（7/13）	なし	済（看板）	なし	
合計												

- 散布したあとに、実際に散布した内容を書きます。都道府県に実施報告書を出す場合は、指定の様式に書き写し、散布した区域がわかる地図などを添えます。
- 散布した日ごとの農薬の使用記録（年月日・場所・作物・農薬の名称・使用量又は希釈倍数）は、この報告とは別に農薬使用記録簿などに残します。
- ドリフト（区域外への飛散）や流出などの農薬事故が起きたときは、農林水産省のガイドラインの事故報告書で都道府県に報告します。人の負傷や物件の損壊などは航空法にもとづき国土交通省に報告します。

ドローンによる農薬散布 散布前の確認リスト

散布予定日：_____ 実施場所：_____

確認すること	確認日	確認者	メモ
機体が国土交通大臣の登録を受け、登録記号を表示している			
飛行の許可・承認を受けている（農薬散布は危険物輸送・物件投下の承認。人口集中地区などでは許可も）			
飛行計画を事前に通報した（ドローン情報基盤システム DIPS）			
飛行日誌（飛行記録・日常点検記録・点検整備記録）を用意した			
使う農薬に、作物・病害虫・使用方法の登録があることをラベルで確かめた			
周辺の学校・病院・家屋・巣箱・有機農業の圃場・収穫が近い作物を確かめた			
周辺に、散布の日時・目的・農薬の種類・連絡先を知らせた			
都道府県への実施計画書の提出（求められている場合）			
操縦者と補助者で現地を確かめた（電線・引込線・電柱の支線などの見えにくい障害物）			
飛行経路・実施除外区域・操縦者と補助者の立ち位置を決めた			
散布装置が決められた量を途切れずに出すことを確かめた			
操縦者・補助者の防護装備（マスク・手袋など）を用意した			
風の強さを確かめた（メーカーの基準。ない場合は地上1.5mで3m/s以下が目安）			
散布後の散布装置の洗浄と、洗浄液の処理方法を決めた			
事故のときの連絡先を控えた（国土交通省への報告、都道府県の農薬指導の担当部署）			

● 農林水産省「無人マルチローターによる農薬の空中散布に係る安全ガイドライン」などをもとにした確認項目です。機体の取扱説明書や、都道府県の指導内容もあわせて確かめてください。

ミノリス（minorisu.com）の無料テンプレート